

●1分で見える世界景気／2016年9月後半から見た10月動向

※日本は経済政策&働き方改革を深掘りできるか？

欧州

意外に堅調な英国

- ・4-6月期GDP成長率 前年比+2.2%
- ・小売売上高指数+6.2%
- ・英国中央銀行、金融緩和据え置き

離脱通告1、2月か

長期停滞の

さえないユーロ圏

- ・新車販売8月8%増（前年同月比）
- ・ドイツ銀行の不安再燃

● 欧州中銀
マイナス金利、現状維持

緩和マネー

中国

大借金と格闘中

- ・重工業のリストラ加速
- ・社債の不履行急増
16年半ばで昨年の2倍の3,800億円
- ・民間投資鈍化
1-7月期前年前期比+2.1%

米国大統領選後の影響に注目集まる？

米国

● F R B「9月利上げ先送り決定」

・12月に利上げの影響がどの程度か予想できず

大統領選、相次ぐテロ事件

が不安要因に

- ・8月雇用増15.1万、7月失業率4.9%
- ・8月新築住宅販売件数60.9万戸（年換算）

日本

経済対策28兆円&働き方改革で現状突破できるか！

景気横ばい × 雇用過熱 × 住宅着工

高齢化率27.3%、社会、企業の改革待ったなし

基準地価は3大都市圏、地方中核都市上昇、局所的に2極化

● 日銀

金融緩和が量から金利へ

- ①短期金利（-0.1%）②長期金利を0%へ誘導決定
- ①②を必要に応じて引き下げる
- ※住宅ローン、アパートローン金利の上昇懸念？

緩和マネー

新興国→2極化、原油価格一服感

- ・ブラジルGDP4-6月 前年同期比3.8%減、ロシア2015年からマイナス成長継続
- ・原油価格が底打ち（1バレル30ドル台）1バレル40ドルへ、今後50ドル台へ持ち直しか
- ・新車販売台数/7月前年同期比/インドネシア13%増、フィリピン22%増